

2016 年度活動報告 CJP 授業：調査・報告 6

西村 由美（関西学院大学日本語教育センター）

1. クラス概要

本授業は、上級の学習者を対象とした、週2コマ全26回のクラスである。受講者は6名であった。身近な社会問題をテーマに、1) 資料収集と日本人へのインタビュー調査、2) 結果を元にレポートの執筆、3) レポートの内容について相互コメント、4) 発表、を行った。これらの活動を通して、これまでに学んだ言語知識を総合的に使いながら、さらに力を伸ばすことを目的としている。教科書はなく、構成や内容の参考として見本レポートを配布した。授業の第1回から第17回までは、週2コマを「資料収集とその整理、序論・本論1の執筆」、「インタビュー調査の準備と実施」の1コマずつにわけ、進めた。また、考えを整理し、コメントを受けてレポートの内容を深めることを目的として、テーマ発表、インタビューの結果発表を行い、学期末には成果発表および振り返りとして最終発表を行った。

2. 授業内容

執筆したレポートの前半は文献調査、後半はインタビュー調査とその結果の分析・考察である。テーマの設定および文献調査のために、大学の web データベースで新聞記事・論文などを収集する方法を学び、図書館での書籍収集も行った。テーマ発表での議論を経て、テーマを絞り込み、インタビューの準備と練習を行った。まず、クラスメート間でインタビューの練習をした後、日本人の L.A. にも行い、コメントを受け、質問項目や質問する順番、話し方などを改善した。インタビューは、ただ質問・答えを淡々と順番通りにするのではなく、相手の話を引き出すことを念頭に、相手の話しやすさを意識しながら会話の流れをコントロールすることを目的として行うようにした。課題は3名へのインタビューなので、3週にわけて一人ずつ実施し、書き起こした会話をもとに毎週授業でフィードバックと振り返りを行い、次のインタビューの改善へとつなげた。レポートは、文献の整理後、序論と本論の前半を書き、インタビューの実施後、本論の後半、結論と書き進めた。各部分の第一稿を書いた後、クラスで相互コメントを行った上で、教師からのフィードバックを受けた。クラスメートからの様々な意見を受け止めて、自分の考えを深め、日本語で表現することを目指した。

3. 成果と今後の課題

授業に対する学生の評価は概ねよかった。特にインタビューの実施を通して、話すことを客観的にとらえ、改善につなげる意識が芽生えたようである。発表の仕方も学びたいという声があったため、取り入れることを検討したい。